

不祥事根絶のための行動計画

東広島市立向陽中学校

校長 植田 昌広

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

使命

私たちは、子どもを守り育てます

公正

私たちは、不祥事を許しません

「ただちに、誠実に、確実に、最後まで徹底して、組織的に対応する学校・教員」

遵法

私たちは、法令を遵守します

公開

私たちは、地域に開かれた学校にします

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○ 服務規律に係る研修を新聞記事及び記者発表資料を活用した内容を中心にすることが多い。 ○ 個人情報の情報・漏洩に関する個々の意識をさらに高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 服務規律にかかわる研修を計画的に実施するほか、内容を充実させるための方法を工夫し、より自分のこととして研修効果が実感できるようにする。 ○ 「机の上の整理・整頓」「情報管理の方法の確認」などについて、実行可能な事項を、全教職員で徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全教職員を対象に服務規律にかかわる研修について、不祥事防止委員会及び研究部を中心に検討し、実施時期や方法等について工夫を行う。 ○ 学年会を中心に、職務環境の整理整頓を行う。また、情報管理の方法について、職員朝会等において文書による確認を行うとともに、不祥事防止委員会において事例をもとに文書管理の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月1回、不祥事防止委員会において評価する。
不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員の協働意識をさらに高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員間のコミュニケーションを十分図ることにより、お互いの悩みを相談できる・支え合える教職員集団を形成する。 ○ 不祥事を起こさせない・許さない雰囲気など、職員室の文化づくりを継続的に推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企画委員会をはじめとする各委員会等で、互いの仕事の進捗状況及び課題等を把握し、解決に向けた方向性を明確にする。 ○ 教職員が孤立感や悩みを抱えないように、職員室の雰囲気を温かくし、話しやすい雰囲気を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月1回、不祥事防止委員会において情報共有を図り主任層で互いに協議し評価する。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談するという自己意識が薄い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校だよりなどで保護者等に周知を行うとともに、全教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒、保護者を対象に、年2回アンケート調査を実施する。